1年間の出来事

1年間の出来事

平成25年

4月1日（月）	平成25年度入職式
4月4日（木）	献血
4月9日（火）	消防設備等の取扱い説明、消火器・消火栓訓練
4月17日（水）	防災避難訓練
4月22日（月）	親和会総会
5月16日（木）	鶴賀病院スタッフ 施設・家族相談会見学
6月1日（土）	親和会ボウリング大会
6月18日（火）	福井県立病院こころの医療センター交流研修
6月28日（金）	豊浦病院スタッフ 施設見学（めぐみキッズハウス）
7月1日（月）	電子カルテシステム稼働開始
7月6日（土）	平成26年度就職説明会
7月15日（月）	島見浜海岸清掃
8月9日（金）	平成26年度職員採用試験
8月9日（金）	新潟まつり大民謡流し
8月25日（日）	市内病院対抗球技大会（野球）
8月29日（木）	平成25年度ピアレビュー
9月1日（日）	市内病院対抗球技大会（排球）
9月5日（木）	葛塚まつり豊栄大民謡流し
9月21日（土）	鈴木会長お疲れ様会
9月29日（日）	病院祭
10月12日（土）	親和会職員旅行
10月16日（水）	防災避難訓練
11月8日（金）	佐藤病院（山形）へ見学
12月13日（金）	恵生会忘年会

平成26年

3月12日（水）	群馬県立精神医療センターより施設（電子カルテ）見学

入職式

看護師9名、事務職3名を採用。新規入職者より「患者様に感謝の気持ち、誠意をもって接します。未熟ではありますが一つ一つの仕事に責任を持ち実践します。」と誓いのことばがありました。

献 血

献血バスが来院。病気やけがなどで輸血を必要としている方の一助となればと32名の職員が献血に協力しました。

消防設備等の取扱い説明、消火器、消火栓訓練

いざというときに落ち着いて行動出来るよう、日頃から消防設備の正しい使用・操作方法を身につけてもらうため訓練しています。

親和会ボウリング大会

職員の約半数が参加するイベントです。毎年多くの部署が仮装して参加します。
今年は1階北病棟が団体優勝しました。

1階北病棟（団体優勝）

2階病棟

3階病棟

作業療法科

1年間の出来事

新潟まつり大民謡流し

新潟市の万代橋を会場に1万3千人の市民と一緒に踊り歩きました。

市内病院対抗球技大会（野球）

市内病院対抗球技大会に参加。準々決勝で惜敗。

市内病院対抗球技大会（排球）

市内病院対抗球技大会に参加。得失点で惜しくも決勝トーナメントを逃しました。

クリスマスツリー点灯式

デイケアメンバーさんによるハンドベル演奏にあわせて点灯。病院を明るく照らしてくれました。

鈴木会長お疲れ様会

創立から今日まで常に患者さんや職員の話に耳を傾け、病院を58年牽引してきた鈴木会長。感謝を込めて盛大に慰労会を開催しました。

親和会職員旅行

10月12日（土）、13日（日）信州・富士周辺のパワースポットと箱根温泉へ。霊験あらたかな神社を参拝し神秘なるパワーを頂いてきました。

恵生会忘年会

当日はまさかの悪天候でしたが職員の持ち前のパワーが炸裂、ビンゴ大会等で大いに盛り上がりました。

機関紙

▼すずらん

▲ふれあい

トピックス 1

電子カルテの導入

1．電子カルテの導入

平成25年７月１日より電子カルテを導入しました。もともとは精神科での電子カルテ導入には若干懐疑的立場でした。と言うのもカルテ記載は単なる症状と薬物治療の記載ではなく「人と状況の関係がわかるように」記載することを教えられたからです。また、人間関係を大切にする精神科の面接にはそぐわないと感じていた点もあります。しかし、当院における情報の共有ということに関しては少し頭を悩ましていました。

この情報の共有という点では電子カルテにはとても優れた利点があり、当院が推進しようとしている地域生活から入院を通した包括的なチーム医療には、やはり必須であると感じました。何よりも「(医者の）カルテの字が読めるようになった！」という喜びの（？）声が聞こえてきて、今までを反省している次第です。

導入後はルーティン業務の記載や報告、確認が簡単になり、ケアレスミスも減少しています。しかし、電子カルテは便利な道具のひとつであり、道具である以上、うまく使用していくのは私たちだということです。記載が終了したからそれで終了ではなく、まず、情報共有のために他職種の記載を読み、業務の簡素化によって生まれた時間はできるだけ患者さんのそばに行くことが大切になります。今後は職員より「こんな風に工夫して使っている」「こういう使い方もできた」などという報告が沢山出てくることを望んでいます。

2．電子カルテ委員会の立ち上げ

電子カルテ委員会　委員長・事務局　川島浩也

電子カルテ導入目的・理由

院内の情報共有環境を整備し、チーム医療体制の更なる強化を図るために電子カルテを導入しました。

精神科治療に於いて予防及び早期治療も含めた急性期治療を充実させ、地域に開かれた精神医療を多職種チームで実施することを目指し、その方法を具現化するための手段として有用であると考えました。

導入後

目的の情報を簡単に検索できます。画面を見ながら効率的に業務を進めることができています。内容も標準化されている為、オーダーの指示や、業務に必要な情報を視覚的に確認し易くなり、伝達ミスや漏れも発生しにくくなりました。

少しの時間でも有効活用できるようになり患者さんと向き合う時間を増やすことが出来ました。

今後の展開

今後は訪問医療なども積極的に展開して行きたいと考えていますので、院内はもちろん院外からもスマートデバイスから、安全に電子カルテにアクセスできる仕組みなどの導入を検討していきたいと考えています。

トピックス 2

研　修

拡大ケース検討会

患者（外来・入院）の治療上の課題や問題点について、当該部署に限らず他部署の職員が集まり解決に向けたアイディアやアドバイスを挙げ、治療の実践にいかすため開催しています。他の機関・施設職員も参加しています。

Evening studies（院内勉強会）

精神科専門病院スタッフとして職種を問わず、誰でも患者に基本的な知識・技術を提供することが重要であると考えています。そのため、毎月職員の勉強会を開催しています。

ＳＳＴリーダー育成研修（社会生活技能訓練）

認知行動療法と社会学習理論を基盤にした支援方法の一つであるSST（社会生活技能訓練）の基礎理論と実際を専門スタッフ（院長をはじめとする職員）より演習やシナリオロールプレイを通じ学んでいます。

トピックス 3

島見浜海岸清掃・病院美化活動

海の日の早朝、島見浜海岸清掃に私たち南浜病院も総勢75名が参加させていただきました。海をきれいにし、快適な海水浴を行える手助けができたかと思います。

既に恒例となり、海岸清掃の受付の方からも「灯台の方をお願いします」と、すぐに頼まれるなど、地域の方とのふれあいが深まっていることが感じられました。

今後も病院が地域と共にありたいと思います。

＊雨の影響で病院美化活動は残念ながら中止となりました。

平成25年７月15日（月）（海の日）午前５時45分出発　参加者　75名

今年は中止でしたが、毎年楽しく病院周辺を清掃しています。

昨年の清掃の様子

トピックス 4

病院祭

2013南浜病院祭実行委員会　　実行委員長　後藤雅博
事務局　後藤孝英

病院が地域住民として医療にとどまらず地域貢献できるよう、所在地である新潟市北区が活き活きあり続けられるようにと病院祭を開催しました。快晴の中、580名近い方に来院いただき盛大に開催することができました。当日は講演会をはじめ、福祉作業所や地域農園と連携した催し、家族で過ごせるKidsコーナー等、地域と職員が一緒になって院内で楽しく時間を過ごしていたように思います。

来場者からは「職員が親切で気持ち良く過ごせた」「にこやかで安心できた」との言葉が聞かれ、またアンケートより「開かれた病院、地域密着の病院を目指して頑張ってほしい」「精神科病院のイメージが変わるような明るい雰囲気が良かった」「精神科病院内のスペースがこのように地域の方々に開放され、交流の場になることはとても素敵なことです」など、テーマである「病院祭を通じて病院、職員を知って頂く」ことや「日頃の感謝の気持ちを地域の方に少しでも還元する」ことが実感でき、とても有意義な病院祭であったと思います。

病院祭の運営にあたり、ご協力いただいた皆様に深謝いたします。

1．総入場者数 ： 576名（一般来場者・外来患者・出演者・サブ会場協力者含む）

①　メイン会場参加者　病院長後藤雅博　講演「認知症：その予防と治療」　119名
②　サブ会場利用者　ストレスチェック・骨密度・脳年齢測定　398名（述べ人数）
ヨーヨーすくい・輪投げ　211名（述べ人数）
文字探しラリー　286名

2．来場者の反応（アンケート結果〈68通〉より）

⑴　会場の雰囲気、職員の対応について
①良い 58名　②やや良い 5名　③普通 3名　④やや悪い 0名　⑤悪い 0名　⑥無回答 2名

⑵　メニューの内容や味について
①良い 49名　②やや良い 8名　③普通 2名　④やや悪い 0名　⑤悪い 0名　⑥無回答 9名